



NANKAI



平成 29 年 3 月 23 日

南海電気鉄道株式会社
南東北グループ

（仮称）新南海会館ビル メディカルフロアについて

南海電鉄（社長：遠北光彦）では、平成 27 年 9 月より南海なんば駅隣接地にて（仮称）新南海会館ビル（平成 30 年 9 月竣工予定）の建設工事を推進しております。

南海電鉄は、明治 18 年の創業以来およそ 130 年にわたり、この「なんば」の地で地域の歴史や文化と呼応しながら多様な都市機能の集積を図ってまいりましたが、本計画ビルは、これまで整備してきた機能および将来期待される都市・交通結節機能の充実などとも有機的に結びつく「なんばの活性化」の要となるものです。

このたび、本計画ビルの中核施設となるメディカルフロアに、「南東北グループ」のクリニックを開設することに決定いたしました。

1. 南東北グループについて

福島県郡山市の一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院を軸に 1 都 4 県で 7 法人を運営。グループの総病床数は 3,300 床を超え、医療・介護施設を複合展開しています。民間病院として国内で初めて「がん陽子線治療施設」を開設したほか、病院では世界初となる「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」による、がん治療機器の臨床試験を昨年 1 月に開始するなど、がん治療における先端医療に積極的に取り組んでいます。

（1）概要

【理事長】 渡邊一夫

【開 設】 昭和 56 年 12 月 1 日

【所在地】 福島県郡山市八山田七丁目 115 番地

（2）主な南東北グループ施設

【福島県】

総合南東北病院、南東北福島病院、南東北がん陽子線治療センター、南東北 BNCT 研究センターなど

【東京都・神奈川県】

総合東京病院、東京総合保健福祉センター江古田の森、新百合ヶ丘総合病院、東京クリニックなど

※別紙「資料 1－1」参照

2. (仮称) 新南海会館ビルへの誘致目的

「がん」は、国民の2人に1人がかかる時代といわれており、かつ高齢化社会では放射線治療や遺伝子を使った治療方法など、生活の質を下げない治療方法のニーズが高まっております。一方、日本の医療技術、先端医療のレベルは世界でもトップクラスと言われ、国内の主要病院には日本の質の高い医療サービスを求め、アジアを中心に医療ツーリズムも始まっております。

南海電鉄では、関西国際空港とダイレクトにつながるターミナル・南海なんば駅と直結する計画ビルに、日本およびアジアの国民病とも言える「がん」の放射線治療で多くの実績を有する南東北グループのクリニックを誘致することで、沿線、関西およびアジアで「がん」で悩む方々の一助になればとの考えがあります。

3. 「南東北グループ」クリニックについて

(1) 施設名称

大阪クリニック(仮称)

(2) 開設位置

(仮称) 新南海会館ビル9階 約1,550㎡【約470坪】

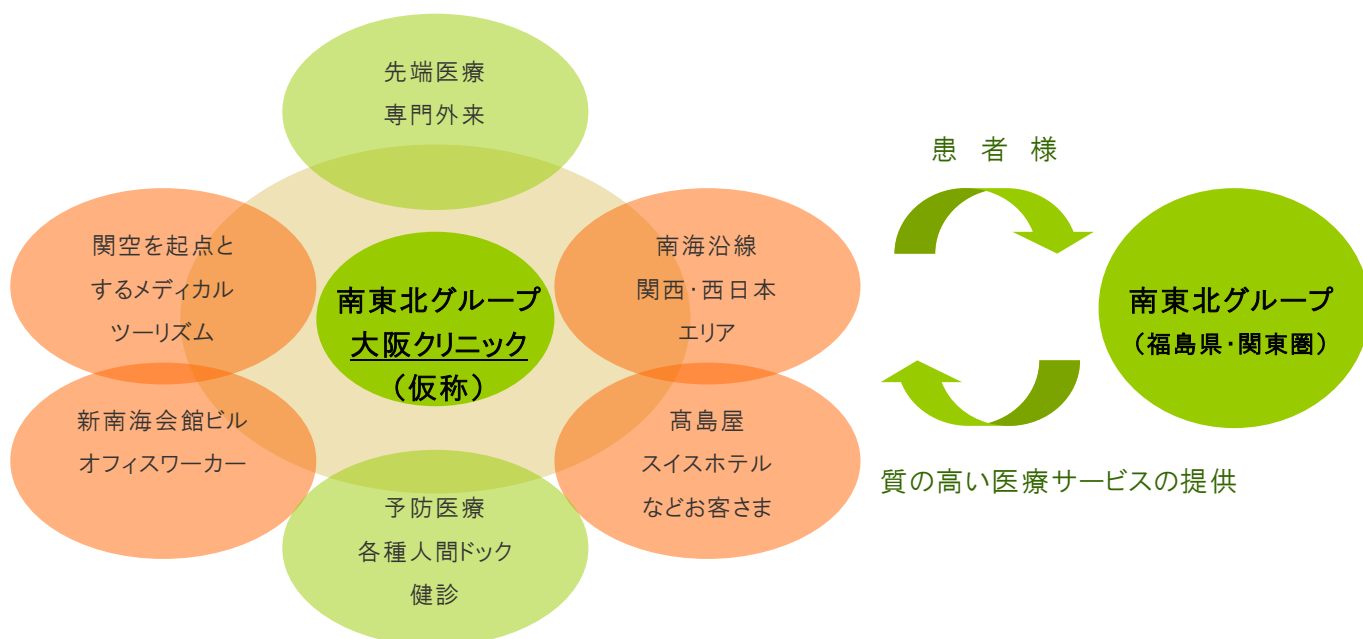
(3) 医療サービス概要

一般外来、各種専門外来、人間ドック、健康診断

(4) 設置予定の検査機器

MRI、CT、マンモグラフィー、内視鏡など

(5) メディカルフロア概念図



別紙 1 - 1 南東北グループ（主なグループ施設）



南東北 がん陽子線治療センター



(1) 施設概要

【所在地】 福島県郡山市八山田七丁目 1 7 2 番地

【開設日】 平成 2 0 年 1 0 月

【照射室】 回転ガントリー照射 2 室、水平固定照射 1 室

【治療患者累計】 3, 8 1 5 名 (平成 2 9 年 2 月末)

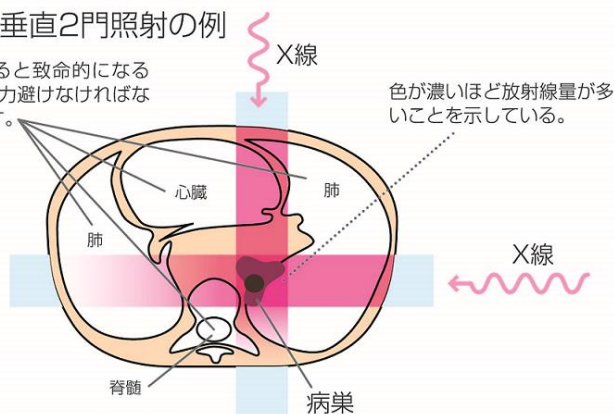
(2) 陽子線治療と一般的な放射線治療との違い

従来の放射線（エックス線・ガンマ線）は、がん病巣に達するまでに、身体の表面に近い正常細胞にもかなりの影響を与える一方、がん病巣のところでは減弱し、本来の効果を十分発揮できないという弱点がありました。陽子線（粒子線）治療は、ある深さにおいて、放射線量がピークになる特性を持っています。ピークの位置をがん病巣に一致させて照射するので、正常細胞への損傷を低く抑えながら病巣に集中照射ができます。

【一般的な放射線治療】

X線水平、垂直2門照射の例

障害が発生すると致命的になるため 照射を極力避けなければならない臓器です。

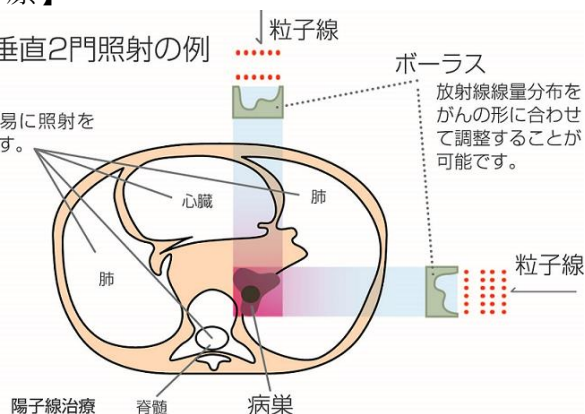


リニアックX線治療
日本国内で行なわれている一般的な放射線治療

【陽子線治療】

粒子線水平、垂直2門照射の例

粒子線治療では、容易に照射を避けることが可能です。





脳腫瘍・頭頸部がんの治験を開始しました。

体にやさしいがん治療

BNCT ホウ素中性子捕捉療法

BNCT は、加速器からの中性子と、がん細胞・組織に集積するホウ素化合物の反応を利用して、がん細胞をピンポイントで破壊する、従来の放射線治療とくらべて身体へに負担が少ない最先端のがん治療法です。浸潤性の強いがん、再発がんなど、現在の外科治療や放射線治療では難しい難治性がんにも有効と考えられています。

(1) 施設概要

【所在地】福島県郡山市八山田七丁目 10 番地

【開設日】平成 26 年 9 月（平成 28 年 1 月より第Ⅱ相治験開始）

(2) BNCT とは

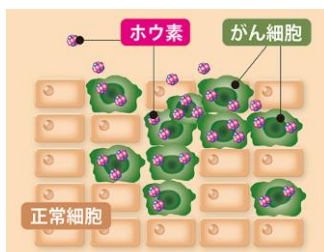
BNCT とは、Boron Neutron Capture Therapy の略で、ホウ素中性子捕捉療法と訳されます。中性子とホウ素との反応を利用して、正常細胞にあまり損傷を与えず、ホウ素薬剤を選択的に取り込みやすいがん細胞のみを死滅させる治療法です。

現在は臨床研究の段階です。がん細胞と正常細胞が混在している悪性度の高い脳腫瘍をはじめとする難治性のがんに特に効果的と考えられています。

従来の BNCT は中性子を取り出すのに実験用原子炉を使って行われていましたが、当センターの BNCT は原子炉ではなく、加速器（サイクロトロン）で中性子を生成するため、病院内に設置することができるようになりました。

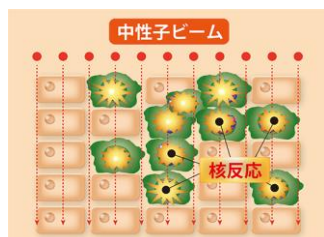
(3) 治療について

①



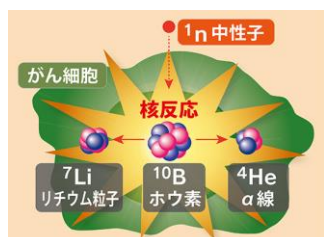
患者さまには事前にホウ素化合物を点滴によって投与します。がん細胞はホウ素化合物を取り込んでいきます。

②



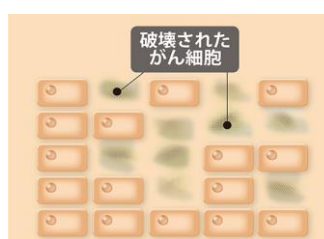
中性子線を照射することで、ホウ素の核分裂を誘発します。

③



核分裂により、細胞 1 個を破壊するエネルギーが発生。

④



ホウ素化合物を取り込んだがん細胞のみが選択的に破壊される。

別紙２－１（仮称）新南海会館ビル施設概要

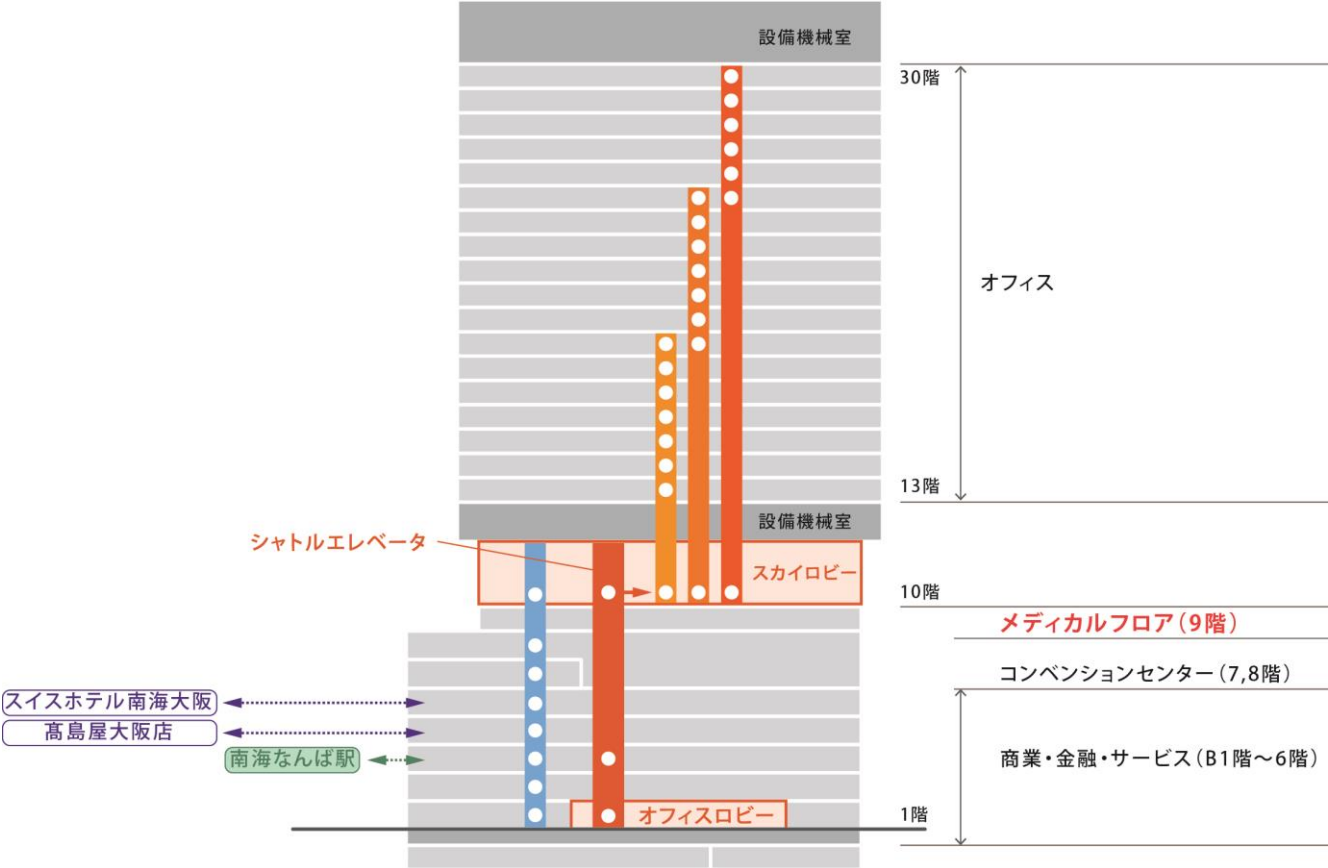
（１）計画地



（２）完成予想



別紙 2 - 2 (仮称) 新南海会館ビル施設概要
(3) 施設構成イメージ



(4) 建物概要、スケジュール

所在地	大阪市中心区難波5丁目1番60号
階数	地上30階 地下2階
高さ	約148m
延床面積	約84,000㎡
構造	鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造）
建物構成	オフィス、医療施設、ホール・カンファレンス、商業サービス施設
着工	平成27年9月
竣工予定	平成30年9月（開業は10月予定）

以 上